

事務事業名		つや姫生産拡大体制整備事業補助金		所属部	産業振興部	所属課	農林振興課	
総合計画体系	政策名	(V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》		所属G	農業グループ	課長名	西村健一	
	施策名	(33)農業の振興		担当者名	小林洋治	電話番号	0854-40-1051	
	目的	対象	市内の農業従事者	意図	A)消費者に信頼される安心・安全な農畜産物を生産する。B)農家所得の向上。			
	基本事業名	(096)生産基盤の整備・保全		予算科目	会計	款	大事業	大事業名
目的	対象	農業従事者	意図	農業の生産性を維持・向上できるようにする。			中事業	つや姫生産拡大体制整備事業補助金
					013002		農業振興事業	
					052578		中事業	つや姫生産拡大体制整備事業補助金

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間

単年度のみ 単年度繰返 (年度 ~)

期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)

② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)

島根県が推奨する「つや姫」の生産拡大を図るため、吉田町の乾燥施設の混米防止のため乾燥調製ラインの見直し整備を図った。

(2) 事務事業の手段・指標

① 主な活動

25年度実績(25年度に行った主な活動)	26年度計画(26年度に計画する主な活動)
島根県が推奨する「つや姫」の生産拡大を図るため、吉田町の乾燥施設の混米防止のため乾燥調製ラインの見直し整備を図った。	H25単年度事業

② 活動指標

	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
ア つや姫乾燥調製量	kg			16,990	
イ 受益面積	ha			3	
ウ					
エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	つや姫を生産する農業者	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
			ア つや姫生産者	人			23	
			イ					
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	つや姫を生産する農業者の生産量を増加させる	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
			ア つや姫乾燥調製量	kg			16,990.0	
			イ					
			ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
吉田町の乾燥調製施設の改修 事業費 38,325千円 県支出金 12,166千円 一般財源 12,166千円 事業主体 13,993千円(JA雲南)	財源内訳	千円			12,166	
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円			12,166	
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円			12,166	
	事業費計(A)	千円			24,332	
	人件費	人			1	
	正規職員従事人数	人			1	
	延べ業務時間	時間			20	
	人件費計(B)	千円			78	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			24,410	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
島根県が推奨する品目であり、吉田町を中心とした播種とともに拡大が図られている。	特になし	特になし

事務事業名	つや姫生産拡大体制整備事業補助金	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 新品種であり県の推奨でもあるため、栽培農家の経営安定と特産化が期待できる。また、安定経営の魅力により、新規に参入する農家を育成することができる。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 本事業は、県、JA及び市町村の負担金で実施されており、市の都合による一方的な廃止を行うことはできない。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 他に類似事業はないため、統廃合はできない。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 必要最低限の工法により実施したため、現状の事業内容では事業費を削減することはできない。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 市が受け持ち業務は少なく、削減の余地はない。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 一定の基準による対象者の選定はあるが、特産化を図る上で必要な規模を確保するものであり、不公平とは言えない。	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 水稻の特産化を目指して実施されている事業であるため、今後も引き続き栽培面積の拡大を目指していく必要がある。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>本事業としては単年度実施であるが、水稻の特産化のためには、農業者の育成確保が重要である。近年は、安定的な農産物生産の魅力から、新規に取り組む農業者もある。栽培管理の徹底などにより、販路も確保できる状況になっているため、今後も引き続き徹底した栽培指導を行いながら産地拡大を目指していく。</p>																			